

科目名 Course Name	幼児曲演習 Infant Song Exercises			ナンバリング No.	K3-007		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	岡泉志のぶ 川田将人 中沢充恵						
連絡方法	C-ラーニングで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択 (保育士養成課程選択必修)						
関連 DP	DP2、DP4、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもが成長する過程で音楽の必要性和影響力はとて大きく、子どもが音楽に親しんでうたを歌ったり楽器を演奏する楽しさを感じるためには、保育者の音楽能力が高いことが望ましい。この授業では、保育現場で必要なピアノ技術と伴奏法の習得を図り、特に教育実習までは各自が実習先から提示された課題曲について指導を受け、それ以降の授業は幼児曲集を使用したレッスンとコードを使用した簡易伴奏を実践できるようにする。また、その過程をチェックシートに記入し活用する。この授業の到達目標は、以下の4つである。</p> <p>①音楽に対する関心を高め、表現活動に取り組む姿勢を身につけることができるようにする ②幼児曲チェックシートを活用して、幼児曲の伴奏を10曲以上演奏することができるようにする。 ③伴奏をしながら歌うことに慣れ、現場に必要な声の大きさや声かけができるようにする。 ④簡単なコードを活用して、幼児曲を応用的に伴奏することができるようにする。</p>						
授業の方法	ピアノ技術の習熟度別のクラス編成をし、対話型を含んだ個人レッスンと弾き歌いのグループレッスンを併用して行う。グループでレッスン室に入り、他者の演奏を聞くことで技術の向上も目指す。個人レッスンの授業内容は各学生の能力に応じた教材や進度を的確に判断し指導を行う。以下には、標準的(ピアノ未経験者、初心者に適した)な授業計画を示す。						
学習成果	L01	実習先から提示された課題曲と各自が習得した幼児曲の伴奏や弾き歌いを、保育現場で正しく演奏しながら表情豊かに歌うことができる。					
	L02	楽曲の構成、正確な音程やリズム、速度、強弱を用いたピアノ技術の習得とコードを理解し、音楽的に表現することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする						
教科書/参考図書	テキスト:改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、その他(実習先からの課題曲)の楽譜						
履修上の留意点やルール等	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室への飲食持ち込みは禁止とする ●事前、事後学習に費やす時間の目安は45分とする。						
担当教員の実務経験	●主担当:岡泉(職種:ピアノ講師 職歴:通算20年)担当者(非常勤講師):ピアノ講師歴あり 学生個々の能力別による個人レッスンに、ピアノ指導の経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	毎回、与えられた課題を練習して授業に臨んでいる。チェックシートの記入と授業内でのレッスンによる理解度についても評価する。	30			
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	実技試験を実施し、他者の演奏も聴く。幼児曲1曲を弾き歌いし、曲の難易度と技術、表現力で採点する。		50		
その他	曲の進度とレポートリー数で評価をする。		20		
合計		30	70		

回数		授業計画
1	授業内容	全体オリエンテーション:授業概要、評価方法の説明、受講上の注意等を説明 担当者別:習熟度チェック、各自の教材の選定と課題
	事前・事後学習	提示された課題を完成させるよう練習時間を定めて課題に取り組み、毎日練習をする。 毎回、レッスンで習得したことを復習し、完成した曲も継続してレポーターを増やす。
2	授業内容	日常のうた弾き歌い① 例:朝のうた おべんとう
	事前・事後学習	日常のうたのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを練習する。
3	授業内容	日常のうた弾き歌い② 例:おかえりのうた さよならのうた
	事前・事後学習	日常のうたのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを練習する。
4	授業内容	実習先の課題を用いて 日常のうた
	事前・事後学習	個々に与えられた課題曲を確認し、各曲のねらいと活動の内容に留意して適切な弾き歌いを体得する。
5	授業内容	実習先の課題を用いて 季節のうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
6	授業内容	実習先の課題を用いて 行事のうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
7	授業内容	実習先の課題を用いて 園歌などの園の特色を持ったうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
8	授業内容	幼児曲弾き歌い①(春のうた) 例:せんせいとおともだち 春がきた
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。
9	授業内容	幼児曲弾き歌い②(夏のうた) 例:おばけなんてないさ うみ シャボン玉
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。
10	授業内容	幼児曲弾き歌い③(秋のうた) 例:どんぐりころころ 大きなくりの木の下で やさいもグーチーパー
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。
11	授業内容	幼児曲弾き歌い④(冬のうた) 例:ジングルベル あわてんぼうのサンタクロース 雪
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。簡易伴奏の練習をする。
12	授業内容	幼児曲弾き歌い⑤(行事のうた) 例:ハッピーバースデー 思い出のアルバム
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、速度や強弱等の弾き歌いを習得する。
13	授業内容	幼児曲弾き歌い⑥ 例:さんぽ アンパンマンマーチ
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを習得する。
14	授業内容	幼児曲のまとめ(日常のうた・季節のうた・行事のうた)
	事前・事後学習	グループ発表の課題曲の練習をして、弾き歌いの発表に臨む。
15	授業内容	弾き歌いの実技試験と講評
	事前・事後学習	これまでに学習した幼児曲の復習と新しい弾き歌いのレポーターを増やす。